

第二復員省公報 第四六號

昭和二十一年三月一日(金)  
第二復員大臣官房

○ 令 達

内令第三二號

元驅逐艦 冬 月  
元第九十六號海防艦

右特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定ム

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 酒 旬

右特別輸送艦ヲ解ク

昭和二十一年二月二十五日

第二復員大臣

官房人第一七號

特別輸送艦船乗員ニシテ本年内令第三二號施行ニ依リ職名ニ異動ヲ生ズル者ハ各其ノ配置ニ應ジ別ニ附令ヲ用ヒズシテ新定員表所定ノ職名ニ變更セラレタル義ト心得ベシ

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

(註) 昭和二十一年内令第三二號ハ當分ノ間特別輸送艦船ノ

定員ヲ定メ試行ノ件ナリ

○ 通 牒

二復員局第六號ノ十一

昭和二十一年二月二十三日

第二復員省經理局長  
第二復員省總務局長

關係各廳長殿

在外財産等報告書ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 總務局長、經理局長

宛 各地方復員局長官

第一三一六四五番電

在外財産等報告書ニ關スル件照會

在外財産等報告書ニ關シテハ客年十一月第一二二八二番電ニ依リ海軍關係ノ分ヲ取纏メ大藏省ヲ經テ聯合國側ニ提出濟ナル

モ今般之ヲ提出洩ノ有無再調方照會アリタルニ付此ノ際未提出

ノ分又ハ其ノ後判明セル分等ニシテ追加ヲ要スルモノヲ調査ノ

上本月中ニ到達スル如ク經理局宛送付相成度尙報告事項ナキ場

合ハ其ノ旨電報相成度

二復員局主第七號ノ一五

昭和二十一年二月二十七日

關係各廳長殿 第二復員省經理局長

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知  
首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 部内一般

第一八一七四三番電

年末賞與及臨時賞與全額家族渡ノ件

現ニ俸給家族下渡中ノ者ニ對シテハ昭和二十年十一月三十日以降ノ年末賞與及臨時賞與ハ本人ノ請求ヲ俟タズ全額家族渡ノコトニ取計ハレ度

發 經理局長

宛 各地方復員局經理部長

第二九一一一六番電

准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル文官俸給ノ取扱ニ關スル件

陸海軍准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合支給スル俸給ハ本年二月分以降恩給額ヲ控除セザルコトニ處理セラレ度

發 經理局長

宛 各地方復員局經理部長

第一九一一一五番電

臨時賞與ニ對スル分類所得稅等ノ取扱ニ關スル件

- 一 本月一日附臨時賞與ノ額八〇〇圓ニ制限セラレタル者ニ對スル分類所得稅ハ當該俸給月額ヲ以テ八〇〇圓ヲ除シテ得タル割合(小數點二位以下切捨)ヲ當該分類所得稅月割納稅額ニ乘ジテ得タル額ヲ控除スルモノトス
- 二 臨時賞與ノ額四位未滿ハ之ヲ四位ニ滿タシムルモノトス

○雜 談

○移轉

山形地方復員人事部ハ二月十七日山形市六日町三二〇番地大日本武德會山形縣支部ニ移轉セリ  
(山形地方復員人事部)

○電話開設

二月十八日附左記電話當部専用トシテ敷設セリ

電話岐阜 四〇〇五番

(名古屋地方復員人事部岐阜支部)

○轉官

第二復員官兒玉繁雄ハ二月八日地方警視ニ轉官セリ

第二復員省公報 第四七號

昭和二十一年三月二日(土)  
第二復員大臣官房

○通 牒

二復經理局主第二號ノ八

昭和二十一年二月二十八日

第二復員省經理局長

關係各廳長 殿

特別輸送艦船等ノ經費掌理ニ關スル件通牒

今般官房第二七一六二番電ヲ以テ主計科准士官以上(同武官ヨリ任用セラレタル文官ヲ含ム)ノ配員ナキ特別輸送艦船掃海艦艇ノ經費掌理者ノ範圍擴張相成候處右ハ特別輸送艦船ノ増加ニ鑑ミ近ク之等ノ經費掌理ノ爲所管地方復員局經理部及其ノ他所要ノ陸上各部ノ經理關係者ノ陣容強化セララル見込ナルモ當該艦船ノ行動等ノ都合上之等各部ノ經費掌理者ヲシテ經費支拂ヲ掌理セシメ難キ爲業務遂行上支障アル場合ニ於テハ當該艦船ニ勤務ノ判任官以上(成ルベク高等官)ノ者ノ内適任者ヲシテ其ノ經費支拂ヲ掌理セシメントスル趣旨ニ出ツルモノニ付了知相成度

二復人事局第一八號ノ七ノ二

昭和二十一年三月二日

第二復員省總務局長

第二復員省公報 第四七號 昭和二十一年三月二日

第二復員省人事局長

各地方復員局總務部長  
各上陸地連絡所長  
輸送關係各艦(船)長 殿

在外部隊現狀調書等ニ關スル件中改正ノ件照會

二復人事局補第一八號ノ七照會首題ノ件中左記ノ通改正致候

記

一 「海軍々人軍屬消息調査」ノ項「處理要領」ノ欄ヲ左ノ通改

輸送艦(船)長(部外艦船ニ依リ歸還ノ場合ハ到達地ノ最寄上陸地連絡所長) 乘艦(船) 歸還者ニ就キ第二様式ニ依リ記註セシメ整理ノ上上陸地連絡所ヲ經由外地ニ殘留シアルモノニ就テハ在籍ノ區分ニ從ヒ人事局長又ハ人事部長ニ戰歿又ハ行方不明者ニ就テハ之ガ殘務整理ヲ行フ地方復員局殘務整理班ニ送付ノコト  
(要スレバ部外者ニモ記註ヲ依頼スルコト)

二 第二様式中

「項目」ノ欄「戰歿又ハ行方不明」トアルヲ「外地殘留者及戰歿又ハ行方不明者」ニ改ム  
備考ニ左ノ通追加ス

三 外地殘留者ノ消息調ハ留守家族ニ對スル消息通知ノ資

七五

料トスルモノニ付歸還者ノ記憶スル限リ成ルベク多數ニ  
就キ詳細(特ニ健康狀況、歸還見込期日等)ニ記載セシ  
ムルコト  
四 軍人ト軍屬ハ各別紙トスルコト

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

自今當分ノ開當艦宛ノ郵便物ハ左記ヘ送付相成度

記

長崎縣佐世保局氣付

特別輸送艦 國 後

(特別輸送艦 國 後)

第二復員省公報 第四八號

昭和二十一年三月五日(火)  
第二復員大臣官房

○令 達

官房經第三三號

特別輸送艦北上及輸第一七四號ノ定員表ヲ各別表ノ通定ム

昭和二十一年二月十日

第二復員大臣

(別表添)

官房經第三二號

損害補償及慰籍内規中左ノ通改正ス

昭和二十一年三月四日

第二復員大臣

第二條中「五萬圓」ヲ「一萬圓」ニ改ム

第六條 補償金及慰籍料ノ支出科目ハ概ネ左ニ依ル

一 艦船ニ在リテハ艦營費

二 其ノ他ノ場合ニハ雜給及雜費

第七條、第九條及第十條中「海軍大臣」ヲ「第二復員大臣」ニ改ム

第十一條ヲ削ル

(參照) 海軍機密會計法規類集第三〇三頁

第二復員省公報 第四八號 昭和二十一年三月五日

官房經第三三號

公金類損害補償内規中左ノ通改正ス

昭和二十一年三月四日

第二復員大臣

第一條中「所屬鎮守府司令長官」ヲ「所屬地方復員局長官」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

所屬長官本内規ニ依リ難シト認メタルトキハ之ヲ第二復員大臣ニ上申スベシ

第二條第四號中但書ヲ削ル

第二條ノ二 本内規ニ依ル補償ハ一事故ニ付各公金會計毎ニ一萬圓以内トス

第五條中「特ニ定ムルモノ」ノ外ニ改ム

第七條 本内規ニ依リ補償ヲ爲シタルトキハ補償ノ金額、年月日及理由ヲ第二復員大臣ニ報告スベシ但シ第二復員大臣ノ認許ヲ得テ實施シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

(參照) 海軍機密會計法規類集第三〇五頁

○ 雜 款

七七

○郵便物發送先  
當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

神奈川縣 浦賀郵便局留置

(特別輸送艦雪風)

1694

(別表第一)

特別輸送艦北上定員表

(昭和二十一年三月五日第二復員省公報)

考 備	計	艦長 分隊長 主計長	大 中 主計大	中 少 中尉(主)	中 少 尉	大 中 尉(水)	中 少 尉(水)	大 中 尉(機)	大 中 尉(機)	中 少 尉(機)	主計兵曹長	二 (電機長)	三	一
	准 士官以上	十三人												
考 備	下 士官兵	乘組 主計兵曹	主計兵	衛 生 兵	衛 生 兵	乘組 兵下士官	兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官	乘組 兵下士官
	七十六人	四	三	一	一	一八	八	二九	二二	二二	二二	二二	二二	二二

一 分隊長ノ中一人ハ副長、一人ハ内務長、一人ハ工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス  
 二 本表中高等武官ノ定員ハ復員官ノ、判任武官ノ定員ハ復員官補ノ、兵ノ定員ハ雇員ノ定員トス  
 三 本表ノ外工作部ノ業務ニ従事セシムル爲工員二十六人ヲ、會計部ノ業務ニ充ツル爲工員一人ヲ臨時乗組  
 マシムルコトヲ得  
 四 本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委嘱スルモノトス

(別表第二)

特別輸送艦輸第一七四號定員表

(昭和二十一年三月五日第二復員省公報)

考 備	計	艦長 少佐 大尉	分隊長 大尉	主計長 主計科 尉官	乗組
	准士官以上	兵科特務士官、准士官 兵科特務士官(機) 兵科特務士官(工)	兼務一	乗組 兵曹	乗組 衛生兵曹
備	一	分隊長ハ機關長兼工作部長ノ配置ニ充ツルモノトス		乗組 工作兵曹	乗組 主計兵曹
	二	本表中高等武官ノ定員ハ復員官ノ、判任武官ノ定員ハ復員官補ノ定員トス		二(金工)	四
三	本表中下士官ノ定員ニハ當該科ノ兵ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得				
四	本表ノ外工員二十人ヲ臨時乗組マシムルコトヲ得				
五	本艦乗員ニ對スル醫務關係事項ハ地方引揚援護局ニ委囑スルモノトス				
	内兼務一人				十七人



# 第二復員省公報 第四九號

昭和二十一年三月六日(水)  
第二復員大臣官房

## ○通 牒

二復員省局長第二號ノ七

昭和二十一年二月二十七日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 第二復員省經理局長

宛 關係各廳長

第二六一五三八番電

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關シ左ノ通定メラル

一 俸給、給料、報酬金(専務囑託ニ限ル)、手當、賞與、航海加俸(航海増給ヲ含ム)等定期的給與ノ支拂ハ月額五百圓迄(分類所得稅、恩給國庫納金、共濟組合掛金ヲ除ク)ハ現金支拂トシ之ヲ超ユル額ハ封鎖支拂トスルコト(家族渡ノ分モ之ニ準ズ)但シ封鎖支拂ノ手續ハ餘白ニ封鎖支拂ナル旨記載シタル封鎖小切手等ヲ以テ支拂フハ所要ノ爲替料金等ハ官費支

辨トス)カ又ハ預入希望ノ銀行、郵便官署ニ對シ明細表ヲ添

ヘ一括小切手ヲ振出シ若ハ貯金通帳ヲ取纏メ現金ヲ以テ支拂

ヒ封鎖預金トスベキ旨請求スル等ノ方法ニ依ルコト

二 本年一月以前ニ支拂フベキモノニシテ手續遅レ居ル場合ハ

第二一一五〇番電ニ拘ラズ三月二日以前ハ現金支拂トシ同

三日以後ハ封鎖支拂トスルコト

三 臨時傭ノ人夫賃金(一日二十圓ヲ限度トス)ハ現金支拂ト

スルコト

四 他省ノ官吏、民間人ニ對スル手當(兼務囑託ニ對スル報酬

金ヲ含ム)ハ封鎖支拂トスルコト

五 旅費、食料、被服料、埋葬料其ノ他實費弁償ニ屬スル給與

ハ現金支拂トスルコト

六 通信費其ノ他事務用雜費(車馬賃、翻譯料、諸謝金及一件

ノ金額五百圓未滿ノ消耗品、備品、圖書文具費等)ハ現金支

拂トスルコト

七 艦船補給用生糧品代ハ緊急ヲ要スル寛貨ノ爲必要已ムヲ得

ザルモノニ限り實情ニ應ジ現金支拂トスルコトヲ得

八 資金前渡官吏及國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ニ對シ

テハ現金支拂トスルコトヲ得

九 現金支拂ハ三月二日迄ハ總テ符券ニ依ルコト但シ三月三日

第二復員省公報 第四九號 昭和二十一年三月六日

七九

1697

以後ニ互ル出張ノ旅費等特ニ新券ヲ要スルモノハ其ノ部分ニ對シ新券ニ依リ支拂フコトヲ得此ノ場合小切手ヲ振出スニ當リテハ支出官又ハ資金前渡官吏ハ三月三日以後ノ旅費ニ相當スル部分ニ付證明書ヲ發給シ日本銀行ニ呈示スルコト

一〇 出納官吏保管ノ舊券トノ引換ニ關シテハ原則トシテ舊券ヲ三月三日以後預託金ニ拂込ムモノトスルモ新券トノ引換ヲ要スル場合ハ現金出納簿ヲ銀行ニ持參シ引換濟證印ノ上引換ヲ受クルコト

一一 酒保資金、未交付金等公金タル舊券ニ付テハ原則ハ前號ニ準ズルモ特殊ノ事情ニ依リ新券トノ引換ヲ要スル場合ハ現金出納簿ニ所轄長ノ證明書ヲ添ヘ銀行ニ呈示シ引換ヲ受クルノ外引換期日、引換金額、引換場所等ノ明細表ヲ添ヘ經理局長及所管經理部長ニ報告スルコト

一二 前號ノ公金ノ封鎖預金等ニ付テハ臨時財産調査令ニ依ル申告ヲ爲スコト

一三 米穀通帳ヲ有セザル艦船乘員等ノ個人保有資金ノ新舊券引換竝ニ封鎖預金等ノ現金拂出ニ要スル米穀通帳ニ代ルベキ證明書ハ所轄長之ヲ調製スルコト

一四 艦船航海等ノ爲規定ノ期日迄ニ新舊券ノ引換、臨時財産調査令ニ依ル申告等ヲ爲シ得ザルモノニ對シテハ所轄長證明書ヲ調製發給ノ上最初ノ歸港港ニ於テ所要ノ手續ヲ執ラシムルコト

二復經理局主第二號ノ一  
昭和二十一年三月五日

第二復員省經理局長

支 出 官  
各資金前渡官吏  
各契約擔任官 殿

金錢債務ノ支拂ニ關スル件通牒

聯合國最高司令部ノ指令ニ關聯シ目下支拂停止中ノ金額一萬圓ヲ超ユル軍需品代金及軍需工場ノ損失補償關係金錢債務ニ付テハ日本銀行封鎖預金トシテ之ヲ決済スルコトニ關係省ニ於テ手續規定準備中ニ有之候處右ニ該當セザル復員輸送艦船ノ修理補給關係等ノ金錢債務ニシテ急速ニ現金支拂ヲ要スル特殊事情アルモノニ付テハ別ノ指令ニ基ク臨時軍需費支拂停止並ニ豫算上ノ制限等ニ抵觸セザル限り當分ノ間昭和二十年十月經豫第三號ノ一八通牒ニ拘ラズ政府特殊借入金ニ依ラズ歳出金ノ支出ニ依リ之ヲ決済(現金支拂)ヲ爲シ差支無之候

○ 雜、 款

○ 郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記  
廣島縣 吳郵便局留置

(特別輸送艦奉月)

第三復員省公報 第五〇號

庶務主任

昭和二十一年三月七日(木)

第二復員大臣官房

〇令 達

陸軍部

置分三回特別輸送艦冬月ノ定員ハ別表ニ依ル

昭和二十一年二月二十五日

第二復員大臣

庶務課長

(別表添)

内令第三五號

主計

昭和二十一年二月二十八日

海軍省所管ノ所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正

第二復員大臣

内務部

横須賀鎮守府所管ノ部中第一海軍補充部ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、三八ノ六〇頁参照)

内令第三六號

元佐世保鎮守府在籍

軍艦若鷹

右帝國軍艦籍ヨリ除カル

昭和二十一年三月二日

第二復員大臣

第二復員省公報 第五〇號 昭和二十一年三月七日

内令第三七號

右特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定ム

元軍艦若鷹

右特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年三月一日

第二復員大臣

内令第三八號

昭和二十年内令第七號申左ノ通改正ス

昭和二十一年三月一日

第二復員大臣

表中佐世保地方復員局掃海部佐世保支部ノ項掃海艦名ノ欄「同二百四十八號」ヲ削ル

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號参照)

内令第三九號

佐世保地方復員局所管

掃海艦 驅潜特二百四十八號

右掃海艦ヲ解ク

八一

1699

昭和二十一年三月一日

第二復員大臣

○遺 牒

官房需第八號

昭和二十一年三月六日

第二復員大臣官房庶務課長

關係各廳長殿

糧食増給ニ關スル件申進

當分ノ開艦船乗組員ニハ昭和二十年十二月一日官房需第二號ノ規定ニ依ルノ外左ノ區分ニ依リ糧食ヲ増給シ得ルコトニ定メラレ候

品 種	日 額	記 事
乳酸飲料	〇〇六立	北緯二十四度以南又ハ北緯五十四度以北(自十二月一日起至三月四日)ノ地域ニ在ル艦船ノ乗組員ニシテ健康上必要アルトキニ限ル
果實シロップ	〇〇六	
落花生ミルク	三五瓦	
罐詰牛乳	三〇	
粉末牛乳	六	内一種

(參照) 昭和二十年官房需第二號 昭和二〇、二一、二二、二三復員省公報

○雜 款

○移轉

當連絡所事務所ハ二月二十日下關市新町三丁目(舊第七十四部隊跡)ニ移轉セリ

(下關上陸地連絡所)

當部ハ二月二十四日佐賀縣唐津市役所佐志支所内ニ移轉セリ

追テ郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

佐賀縣唐津市 佐志郵便局氣付

博多掃海支部

(博多掃海支部)

○事務開始

本艦艇裝員事務所ヲ一月四日大阪市住吉區柴谷町四番地(藤永田造船所内)ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(特別輸送艦第五十八號海防艦艇裝員事務所)



第二復員省公報 第五一號

昭和二十一年三月八日(金)

第二復員大臣官房

○令 達

官房ノ第三七號

左記艦艇ノ乗員ハ特ニ發令ノモノヲ除キ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下欄ノ日附ヲ以テ全員豫備役ニ編入(召集中ノ者ハ其ノ儘)庶務課員召集セラレ第二復員部内職員トシテ従前ノ職務ニ相當スル特別輸送艦ノ職員ニ補命セラレタルモノトス

昭和二十一年三月一日

第二復員大臣

<p>元敷設艦 若應</p> <p>昭和二十一年三月一日</p>	<p>同 荒崎</p> <p>元水雷艇 雄</p> <p>昭和二十一年二月二十日</p>	<p>元艦務艦 早崎</p> <p>昭和二十一年二月二十日</p>	<p>元艦務艦 神風</p> <p>昭和二十一年二月一日</p>
----------------------------------	--	-----------------------------------	----------------------------------

○通 牒

二復經理局第一四號

昭和二十一年二月二十二日

第二復員省公報 第五一號 昭和二十一年三月八日

庶務主任

關係各廳長 殿

特別輸送艦艦長

日用品等配給ニ關スル件中改正ノ件通牒  
和二十年二復經理局第一號通牒首題ノ件申左ノ通改正セルニ可然了知相成度

第一號(口)項表中ノ「4」ヲ

4 引揚援護局滞留中ノ軍官兵(特別輸送艦艇以外ノ船舶引揚者ヲ含ム) 引揚援護局内及歸郷地迄ノ旅行中必要ナル日用品

ニ改ム

第一號(口)項表「4」ノ次ニ

5 元海軍病院タリン國立病院收容中ノ患者

追加シ従前ノ「5」「6」「7」ヲ「6」「7」ニ改ム

(昭和二十年三月二十日第二復員省公報第一三號參照)

二復經理局契九第一號ノ六五

昭和二十一年二月二十二日

第二復員省經理局長

八三

1702

關係各廳長 殿  
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給品種標準中改正ニ關スル件通知  
昭和二十年二月復員局契九第二號ノ五〇通知首題ノ件別表中左ノ通知正セルニ付可然取計相成度

記

一 「上陸地連絡所滯留中」軍官民「ヲ」引揚援護局滯留中ノ軍官民」ニ改ム

二 「管制廳ノ特ニ定ムルモノ」ヲ「元海軍病院タリシ國立病院收容中ノ患者及ビ管制廳ノ特ニ定ムルモノ」ニ改ム

(昭和二十一年二月五日第二復員省公報第二七號參照)

二復員局主第二號ノ一〇

昭和二十一年三月四日

第二復員省經理局長

關係各廳長 殿

特別輸送艦船等ノ經費掌理ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 第二復員大臣

宛 關係各廳長

第二七一六二一番電

特別輸送艦船等ノ經費掌理ニ關スル件

當分ノ間主計科准士官以上、同武官ヨリ任用セラレタル文官ヲ

含ム)ノ配員ナキ特別輸送艦船、掃海艦艇ニシテ經費掌理者ヲ

指定セラレザル爲支障アル場合ニ於テハ官房經第三號ノ規定ニ

拘ラズ所管地方復員局經理部長ヲ經テ第二復員省經理局長ニ協

議ノ上當該各部ニ勤務ノ判任官以上ノ者ヲシテ之ガ給與其ノ他

ノ經費支拂ヲ掌理セシムルコトヲ得當該出納官吏ノ變更、廢止

等ヲ要スル場合ハ之ガ任免ニ關シ所管地方復員局經理部長ヲ經

テ第二復員省經理局長ニ協議スベシ

二復員部第六〇號

昭和二十一年三月六日

第二復員大臣官房需品部長

關係各廳長 殿

特別輸送艦船及掃海艦艇經營需品受拂調書ニ

關スル件照會

首題ノ件需品調達計畫樹立上必要ニ付昭和二十一年二月一日現

在ヲ以テ別紙様式ニ依リ調書作製ノ上至急送付相成度

追テ客年十月五日附軍需機密需第四五一號通報ハ自然消滅ノ

コトト了知相成度

(別紙様式添)

(別紙様式)

(昭和二十一年三月八日第二復員省公報)

特別輸送艦船(掃海艦艇)艦營需品受拂調査

(二月一日現在)

品名	數稱	還送(掃海)	就役後受込	(消費品量)	現在庫量	記	事
		在庫數量ノ	需品部名ニ				

備考

- 一 本調査ニハ供給標準以外ノモノト雖モ現ニ保有セル艦營需品全部ヲ記入ノコト
- 二 記事欄ニハ該需品ノ任務行動上必要ノ有無ヲ記入ノコト
- 三 欄外ニ就役後ノ行動概要記註ノコト



第二復員省公報 第五二號

昭和二十一年三月十二日(火)  
第二復員大臣官房

庶務主任

長 ○ 遷 牒

官房第二七號

昭和二十一年三月二日

第二復員大臣官房庶務課長

各 廳 長 殿

官廳執務時間ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通發電セラレ候條了知相成度

第二復員省

宛 郵 附 一 般

郵 附 一 般

官廳執務時間ニ關スル件

昭和十八年閣令第二四號大東亞戰爭中ノ官廳執務時間ニ關スル

件ヲ廢止シ大正十一年閣令第六號ニ定ムル執務時間ニ依ルコト

決定來三月五日ヨリ實施セラル

各廳ハ現下ノ異常ナル時局ニ鑑ミ克ク執務時間ヲ勵行シ特ニ土

曜日ノ午後、休日、平日ノ午後四時以後ト雖モ緊急ナル事務ノ

處理ニ支障ナキ様事務處理能力ヲ有スル責任者ヲ出勤又ハ居殘

セシムル等執務態勢ヲ一層強化シ事務處理ニ遺憾ナキヲ期スル

コト

(参照)

昭和十八年閣令第二四號(大東亞戰爭中ノ

官廳執務時間ニ關スル件)(昭和十八年十月一日)

閣令第二十四號

大東亞戰爭中ノ官廳執務時間ニ關スル件左ノ通定ム

大東亞戰爭中ノ官廳執務時間ハ大正十一年閣令第六號第一項ノ

規定ニ拘ラズ休日及休暇日ヲ除キ左ノ通トス

四月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後五時迄

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後五時迄

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年閣令第二十五號ハ之ヲ廢止ス

○官廳執務時間(大正十一年)

第一項

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ左ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

七月二十二日ヨリ八月三十一日迄

第二復員省公報 第五二號 昭和二十一年三月十二日

八五

1705

午前八時ヨリ午後十二時迄

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午後十二時迄トス

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午後十二時迄トス

○雜款

舞復運第一〇號ノ三四

昭和二十二年二月二十六日

舞鶴地方復員局艦船運航部長

關係特別輸送艦長殿

郵便物發送先通知ニ關スル件照會

首題ノ件第二復員省及關係郵便局等ニハ夫々通知有之モノト被  
存候處公報發布受領迄ニハ相當ノ日時ヲ要シ爲ニ往々ニシテ郵  
送先不明ノ理由ヲ以テ不達返送サルル實狀ニ有之候條自今郵便  
物發送先變更ノ都度第二復員省官房及關係郵便局ヘ通知スルト  
共ニ速ニ當部ヘ通知方勵行相成度

○郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ヘ廻送相成度

記

鹿兒島市六日町(鹿兒島無盡會社三階)

鹿兒島上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 夏 月

(特別輸送艦夏月)

マ入マ

○事務開始

當隊殘務整理ハ二月二十六日長崎縣佐世保市大搭町(舊佐世保  
海軍施設部内)ニ於テ事務ヲ開始セリ  
(佐世保地方復員局營業部)

○正誤

第四四號七〇頁轉官ノ項中原田美實ノ轉官月日「二月三十一日」  
ハ「二月二十二日」ノ誤





第二復員省公報

第五五號主任

昭和二十一年三月十五日(金)

第二復員大臣官房

部長

二復員省主第七號ノ一九

昭和二十一年三月十三日

庶務課長

關係各廳長殿

第二復員省經理局長

主計課長

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

通發電セラレ知相成度

發 經理局長

宛 部内一般

内務課長

退職賞與金ト共ニ退職賞與金以外ノモノヲ定

期預金トシタル場合ノ證明ノ件

職官同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)ノ退職賞與金ノ定期

預金證書ヲ預入銀行ニ提出スルニ際シ退職賞與金ト共ニ退職賞

與金以外ノモノヲ定期預金トシタル場合ハ退職賞與金以外ノ金

額ヲ限リ證明書ニ依リ支拂ヲ受ケ得ルモノナル處其ノ證明書ハ

左ニ依リ發行スルモノトス

證明書

定期預金證書所持人ノ最寄ノ地方復員局經理部(會計課)ニ

第二復員省公報 第五五號 昭和二十一年三月十五日

方復員人事部、地方復員局人事支部分又ハ第二復員省經理局(會計課)

二 證明スベキ退職賞與額

昭和二十年機密第二二二三二〇番電及同第三〇一八三一番電(九月六日及九月十五日公報)ニ依ル額

三 證明事項

退職賞與ノ支給ヲ受ケタル所轄名

解員時ノ官職等級氏名

現住所

退職賞與額

退職賞與金ナルコトヲ證明スル文言

證明年月日

證明廳長印(職印)

尙本件ハ公示方考慮中ナルモ各地方復員人事等ニ於テモ一般ニ周知方取計ハレ度

發 經理局長

宛 關係各廳長

第二二一六〇六番電

職死認定後生存シタルコト判明セル者ノ給與取扱ノ件

八七

職死認定後生存シタルコト判明シタル者ノ給與取扱ニ關シテハ昭和二十年官房人第一八號第四號ニ依ルノ外左ニ依リ處理セラレ度

俸給等

(イ) 死亡公表セラレタル者ノ内終職前俸廢タリシコト明ニシテ現ニ生存スルモノニ付テハ解員又ハ整理ノ日ノ屬スル月ノ前月迄俸給等ノ諸給與ハ支給セズ但シ從來支給済ノ諸給與ハ其ノ儘トス

(ロ) 前號以外ノ者ニシテ現ニ生存スルモノニ付テハ引續キ死亡認定時所屬スル廳ニ勤務シタルモノトシテ死亡認定時ノ官等級俸(死亡認定時進級シタルモノニ在リテハ其ノ直前ノ官等級俸ヲ謂フ)ニ依リ諸給與ヲ支給ス

一 解員又ハ整理ニ伴フ給與  
一 般解員又ハ整理者ニ同ジ

發 第二復員大臣  
宛 第十方面艦隊司令長官

第〇三二四三三番電

外地ノ局地輸送ニ從事スル艦船乗員ニ慰勞金支給ノ件

特別輸送艦船ニ非ザル艦船艇ノ乗員ニシテ外地ニ在リテ局地輸送ニ從事スル軍人軍屬ニハ左ニ依リ本年一月一日以降局地輸送慰勞金ヲ支給スルコトヲ得

一 局地輸送慰勞金ハ月額トシ左ニ依リ之ヲ支給ス  
准士官以上及高等文官同待遇者 百圓以内  
下士官兵及其ノ他 六十五圓以内

二 前號ノ慰勞金ハ局地輸送艦船艇ノ固有乗員ニシテ一ヶ月ニ付二十日以上輸送任務ニ從事シタルモノニ之ヲ支給ス

三 慰勞金ハ月ノ途中ニ於テ身分ヲ變更シタルトキハ多額ニ依リ特別賞與ノ支給ヲ受クル者死亡シタルトキハ其ノ月ノ全額ヲ支給ス

四 所屬長官ハ業務ノ狀況ニ依リ適宜減額スルコトヲ得

五 廳長前各號ニ依リ定メラレタル慰勞金ノ支給額ヲ上官ニ在リテハ第二復員省經理局長、特務士官以下ノ軍人ニ在リテハ在籍ノ地方復員局經理部長、其ノ他ニ在リテハ其ノ所屬廳ノ屬スル地方復員局經理部長ニ通報スルモノトス

前號ノ通報ニハ所轄名、官職等級、氏名(電報符又ハ入籍番號)支給金額、支給ヲ爲スベキ乘艦期間内地ニ於ケル當該金額受取人ノ住所氏名ヲ記載スルモノトス

六 第二復員省經理局長及地方復員局經理部長ハ前號ノ通報ニ依リ慰勞金ヲ支給スルモノトス

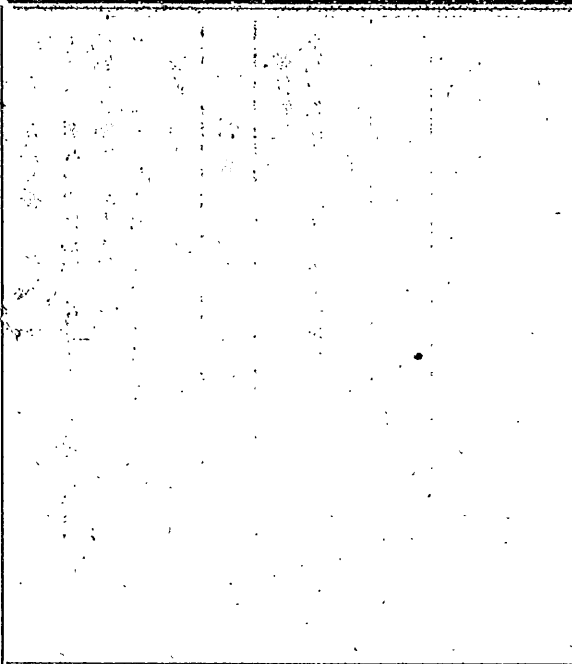
七 支辨科目ハ臨軍、臨軍、經營費、雜費トス

發 經理局長  
宛 各地方復員局經理部長、各上陸地連絡所長



安浦分室	横須賀市安浦町二丁目三番地 (安浦船溜北側) (横須賀急行電鐵公郷驛下) (車徒歩約三分)
浦賀圖誌部	横須賀市浦賀町 横須賀地方復員局巡航部内
治療品供給所	横須賀市久里濱 (浦賀中野援護局收容部内) (舊海軍工作學校)
燃料ニ關スル事項	市内電話 横須賀 八九三
水路圖誌ニ關スル事項	市内電話 呼出 二二六三
治療品ノ補給ニ關スル事項	市内電話 部内電話 二二四四

(横須賀地方復員局需品部)



昭和二十一年三月十五日  
第三復員省公報  
五四号  
給與課



第二復員省公報 第五三號

昭和二十一年三月十五日(金)  
第二復員大臣官房

○ 通 牒

二復員省主第七號ノ一九  
昭和二十一年三月十三日

關係各廳長殿  
第二復員省經理局長

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知  
首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長  
宛 部内一般

第〇二一三四五番電

退職賞與金ト共ニ退職賞與金以外ノモノヲ定期預金トシタル場合ノ證明ノ件

軍人文官同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)ノ退職賞與金ノ定期預金證書ヲ預入銀行ニ提出スルニ際シ退職賞與金ト共ニ退職賞與金以外ノモノヲ定期預金トシタル場合ハ退職賞與金以外ノ金額ニ限リ證明書ニ依リ支拂ヲ受ケ得ルモノナル處其ノ證明書ハ左ニ依リ發行スルモノトス

一 證明願

定期預金證書所持人ノ最寄ノ地方復員局經理部(會計課)、地

第二復員省公報 第五三號 昭和二十一年三月十五日

方復員人事部、地方復員局人事部支部又ハ第二復員省經理局(會計課)

二 證明スベキ退職賞與額

昭和二十年機密第二二二三二〇番電及同第三〇一八三一番電(九月六日及九月十五日公報)ニ依ル額

三 證明事項

(イ) 退職賞與ノ支給ヲ受ケタル所轄名

(ロ) 解員時ノ官職等級氏名

(ハ) 現住所

(ニ) 退職賞與額

(ホ) 退職賞與金ナルコトヲ證明スル文言

(ヘ) 證明年月日

(ト) 證明廳長印(職印)

尙本件ハ公示方考慮中ナルモ各地方復員人事部等ニ於テモ一般ニ周知方取計ハレ度

發 經理局長

宛 關係各廳長

第二二一六〇六番電

職死認定後生存シタルコト判明セル者ノ給與  
取扱ノ件

八七

1713

戰死認定後生存シタルコト判明シタル者ノ給與取扱ニ關シテハ昭和二十年官房人第一八號第四號ニ依ルノ外左ニ依リ處理セラレ度

一 俸給等

(イ) 死亡公表セラレタル者ノ内終戰前停虜タリシコト明ニシテ現ニ生存スルモノニ付テハ解員又ハ整理ノ日ノ屬スル月ノ前月迄俸給等ノ諸給與ハ支給セズ但シ從來支給済ノ諸給與ハ其ノ儘トス

(ロ) 前號以外ノ者ニシテ現ニ生存スルモノニ付テハ引續キ死亡認定時所屬スル應ニ勤務シタルモノトシテ死亡認定時ノ官等級俸(死亡認定時進級シタルモノニ在リテハ其ノ直前ノ官等級俸ヲ謂フ)ニ依リ諸給與ヲ支給ス

二 解員又ハ整理ニ伴フ給與  
一般解員又ハ整理者ニ同ジ

發 第二復員大臣

宛 第十方面艦隊司令長官

第〇三一四三二番電

外地ノ局地輸送ニ從事スル艦船乗員ニ慰勞金支給ノ件

特別輸送艦船ニ非ザル艦船艇ノ乗員ニシテ外地ニ在リテ局地輸送ニ從事スル軍人軍屬ニハ左ニ依リ本年一月一日以降局地輸送慰勞金ヲ支給スルコトヲ得

一 局地輸送慰勞金ハ月額トシ左ニ依リ之ヲ支給ス  
准士官以上及高等文官同待遇者 百圓以内  
下士官兵及其ノ他 六十五圓以内

二 前號ノ慰勞金ハ局地輸送艦船艇ノ固有乗員ニシテ一ヶ月ニ付二十日以上輸送任務ニ從事シタルモノニ之ヲ支給ス

三 慰勞金ハ月ノ途中ニ於テ身分ヲ變更シタルトキハ多額ニ依リ特別賞與ノ支給ヲ受クル者死亡シタルトキハ其ノ月ノ全額ヲ支給ス

四 所屬長官ハ業務ノ狀況ニ依リ適宜減額スルコトヲ得

五 廳長前各號ニ依リ定メラレタル慰勞金ノ支給額ヲ士官ニ在リテハ第二復員省經理局長、特務士官以下ノ軍人ニ在リテハ在籍ノ地方復員局經理部長、其ノ他ニ在リテハ其ノ所屬廳ノ屬スル地方復員局經理部長ニ通報スルモノトス

前號ノ通報ニハ所轄名、官職等級、氏名(電報符又ハ入籍番號)支給金額、支給ヲ爲スベキ乘艦期間内地ニ於ケル當該金額受取人ノ住所氏名ヲ記載スルモノトス

六 第二復員省經理局長及地方復員局經理部長ハ前號ノ通報ニ依リ慰勞金ヲ支給スルモノトス

七 支辨科目ハ臨軍、臨軍、艦營費、雜費トス

發 經理局長

宛 各地方復員局經理部長、各上陸地連絡所長

第一九一五五番電

外地ヨリ歸還者ノ出張旅費ニ關スル件

外地ヨリ歸還ノ軍人軍屬ニシテ第二復員省ニ報告ノ爲出頭スルモノニ對スル上陸地、東京間ノ出張旅費ハ經理局(會計課)ニテ支給ノコトニ一定ス

○雜 款

○郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

鹿兒島市 鹿兒島上陸地連絡所氣付

特別輸送艦 海第五十二號

(特別輸送艦海第五十二號)

○移轉

第二十二海軍航空廠殘務整理班ハ二月二十八日佐世保地方復員局ニ移轉セリ

(第二十二海軍航空廠殘務整理班)

○事務所及出張所(分室)所在ニ關スル件

當需品部所在並ニ取扱事項左記ノ通

記

名 稱 區 分	位 置	取 扱 事 項	電 話 番 號
本 部	横須賀市久里濱町 横須賀地方復員局内 (舊海軍通信學校内)	般	部内電話(久里濱交換) 部長課 〇二五 總務課 〇〇〇 衣糧課 〇〇〇 需品課 〇〇〇 衣糧課 〇〇〇
浦 賀 分 室	横須賀市浦賀町宮ノ下五十一番地 東京都芝區高濱町八番地 東野鐵工所内 友野鐵工所内 (省線品川驛東口ヨリ徒歩約三分)	浦賀在泊艦船ニ對スル被服糧食ノ補給 東京方面糧食補給並ニ一般連絡	部内電話 浦賀電話 一六〇、一〇七
東 京 出 張 所	横須賀市神奈川區山内町 中央市場内 (約五分)	横濱方面在泊艦船ニ對スル糧食ノ補給並ニ連絡	市内電話 三川(45)一九二乃至一九六
横 濱 出 張 所	横濱市中央市場前下車徒歩約五分	呼出神奈川局	一三二八二

第二復員省公報 第五三號 昭和二十一年三月十五日

八九

治療品供給所	浦賀圖誌部	安浦分室
横須賀市安浦町二丁目三番地 (安浦船溜北側) (横須賀急行電鐵公郷驛下) 車徒歩約三分 横須賀市久里濱 横須賀地方復員局運航部内 横須賀市久里濱 (浦賀引揚敷護局收容部内) (舊海軍工作學校)		
治療品ノ補給ニ關スル事項	水路圖誌ニ關スル事項	燃料ニ關スル事項
部内電話 二二四四	市内電話 呼出 二二六三	市内電話 横須賀 八九三

(横須賀地方復員局需品部)

1716



スベキ移轉料ハ海軍内國旅費規則第六表ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依ル

本令ハ昭和二十一年一月一日以後ノ旅行ニ付之ヲ適用ス

昭和二十一年三月十三日

第二復員大臣

(別表添)

○雜 款

○事務開始

函館上陸地連絡所設立準備事務所ヲ二月十五日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

函館市舟場町

船舶運營會函館出張所内

電話函館局

{一三三三番(晝間)  
五四六八番(夜間)}

(函館上陸地連絡所設立準備事務所)

佐世保地方復員局管業部長崎連絡所ヲ三月五日長崎市三菱長崎造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(保世佐地方復員局管業部)

○轉官

海軍技手糸山眞一ハ二月十日氣象技手ニハ第二復員屬川上碩三八二月二十八日厚生屬ニ執モ轉官セリ

別圖

判任官以上  
(判任官待遇以上)  
(モノヲ含ム)

銅臺 櫻花 赤線  
銀メッキ梨地  
徑 一三・五耗



雇員備入

銅臺 櫻花 緑線  
銀メッキ梨地  
徑 一三・五耗



(昭和二十一年三月十九日第二復員省公報)

(別表)

(昭和二十一年三月十九日第二復自省公報)

考 備	移 轉 料												
	一 等	二 等	三、四、五等	六、七 等	八 等	九 等	鐵道	一〇〇 糎未滿	五〇〇 糎未滿	一、〇〇〇 糎未滿	一、五〇〇 糎未滿	二、〇〇〇 糎未滿	二、〇〇〇 糎以上
一 家族移轉料ノ支給ヲ受クル者ニハ其ノ際海軍内國旅費規則第四十五條ノ規定ニ該當シタル當時ノ旅費等級ニ依リ本表移轉料ノ額ヲ更ニ支給ス	五〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	三三〇 <sup>円</sup> 〇〇	二五〇 <sup>円</sup> 〇〇	一七〇 <sup>円</sup> 〇〇	一二〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇 <sup>円</sup> 〇〇	五〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	六〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	六八〇 <sup>円</sup> 〇〇	七四〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一、〇〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一、〇〇〇 <sup>円</sup> 〇〇
二 鐵道以外ノ旅行ニ在リテハ水路二百糎、陸路五十糎ヲ鐵道四百糎ノ割合ニ依リ計算ス	四二〇 <sup>円</sup> 〇〇	三〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	二二〇 <sup>円</sup> 〇〇	一七〇 <sup>円</sup> 〇〇	一二〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇 <sup>円</sup> 〇〇	四二〇 <sup>円</sup> 〇〇	四八〇 <sup>円</sup> 〇〇	五二〇 <sup>円</sup> 〇〇	五六〇 <sup>円</sup> 〇〇	六〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	七〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	七〇〇 <sup>円</sup> 〇〇
三 移轉料ヲ區分スル糎數ハ出發地ヨリ目的地迄ノ順路ニ依ル糎數トス	三〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	二五〇 <sup>円</sup> 〇〇	二〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一五〇 <sup>円</sup> 〇〇	一二〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇 <sup>円</sup> 〇〇	三〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	三四〇 <sup>円</sup> 〇〇	三七〇 <sup>円</sup> 〇〇	四〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	四〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	五〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	五〇〇 <sup>円</sup> 〇〇
	二四〇 <sup>円</sup> 〇〇	二〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一五〇 <sup>円</sup> 〇〇	一二〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇 <sup>円</sup> 〇〇	八〇 <sup>円</sup> 〇〇	二二〇 <sup>円</sup> 〇〇	二四〇 <sup>円</sup> 〇〇	二六〇 <sup>円</sup> 〇〇	二八〇 <sup>円</sup> 〇〇	二〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	二五〇 <sup>円</sup> 〇〇	二五〇 <sup>円</sup> 〇〇
	一八〇 <sup>円</sup> 〇〇	一四〇 <sup>円</sup> 〇〇	一三〇 <sup>円</sup> 〇〇	一〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一〇〇 <sup>円</sup> 〇〇	一三〇 <sup>円</sup> 〇〇	一三〇 <sup>円</sup> 〇〇	一四〇 <sup>円</sup> 〇〇	一四〇 <sup>円</sup> 〇〇	一八〇 <sup>円</sup> 〇〇	一八〇 <sup>円</sup> 〇〇



部 第二復員省公報

第五五號

主任

昭和二十一年三月二十日(水) 第二復員大臣官房

通 牒

庶務

第二復員省第二號ノ一三  
昭和二十一年三月十五日

第二復員省經理局長

長 殿

政府特殊借入金借入事務取扱方ニ關スル件通知

大藏次官ヨリ

第二復員次官宛別紙理祕第九九號

通知

通知係了知相成度

別紙

昭和二十一年三月四日

大 藏 次 官

第二復員次官殿

政府特殊借入金借入事務取扱方ニ關スル件

客年十一月二十四日附聯合軍最高司令部ノ日本政府ニ對スル覺書「戰爭利得ノ除去及財政ノ再建ニ關スル件」第四項及第八項ニ基キ政府特殊借入金證書ノ發行ハ爾來停止シアリタル處前記覺書及本年一月二十一日附覺書「政府借入金及政府支出ノ削減ニ關スル件」ニ基キ戰爭關係金債權ノ封鎖ニ關スル法制的措置

ニ拘ラス政府特殊借入金ニ依ル政府金債權ノ決済制度ノ繼續方ニ付同司令部ノ諒解アリタルヲ以テ未處理債務ノ急遽處理ヲ圖ル爲政府金債權特殊決済事務取扱規則ノ規定ニ從ヒ別紙ニ依リ暫定的ニ處理スルコトト相成候條可然御取計相成度  
追而臨時資金調整法施行令第九條ノ六ニ依ル大藏大臣ノ指定スル物件ノ買収代金又ハ一回ノ支拂金額一萬圓ヲ超ユル加工費、工事費若ハ保管料竝ニ企業整備資金措置法第十一條ノ規定ニ依ル一日五千圓以上ノモノニシテ爾今政府特殊借入金トナルモノニ付テハ未處理債務ノ急遽處理ヲ圖ル爲右支拂ニ相當スルモノハ成ル可ク速ニ御請求相成ル様併而及御依頼候也

政府特殊借入金暫定取扱要領ニ關スル件  
一 政府金債權特殊決済事務取扱規則第三條ニ依リ大藏大臣債主ニ對シ政府特殊借入金證書交付通知書ヲ送付スルトキハ之ニ添ヘ政府特殊借入金證書ハ日本銀行ヲシテ保管センメラレ度旨ノ通知ヲ爲スコト  
二 同規則第四條ニ依リ日本銀行債主ヨリ政府特殊借入金證書交付通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ右通知書ニ政府特殊借入金證書保管ノ旨ノ裏書ヲ爲シ債主ニ返付シ其ノ旨大藏大臣及關係各省大臣ニ通知スルコト

第二復員省公報 第五五號 昭和二十一年三月二十日

九三

三 日本銀行前項ニ依リ處理シタルトキハ其ノ一件毎ノ明細ヲ帳簿ニ記入整理シ置クコト

二復經理局主第二號ノ一四  
昭和二十一年三月十五日

第二復員省經理局長

支 出  
各資金前渡官吏殿  
各契約捺任官

金錢債務ノ支拂ニ關スル通牒申改正ノ件通知

二復經理局主第二號ノ一一金錢債務ノ支拂ニ關スル通牒申左ノ  
通改正致候

「現金支拂」ヲ「支拂」ニ改ム

(参照) 三月六日第二復員省公報第四九號

○ 雜 款

第二復員技師兼海運局技師 岡本 節夫

免本官專任海運局技師(一月二十六日內開)



<p>囑託船員指定船中一部削除ノ件 第二一七五九番電ニ依ル囑託船員指定船中ヨリ左ヲ削除セラ ル 協力丸 忠榮丸</p>	<p>○雜 款</p>	<p>○郵便物發送先 本艦宛郵便物ハ左記宛送付相成度 鹿兒島市 鹿兒島上陸地連絡所氣付 特別輸送艦 樺 (特別輸送艦 樺)</p>	<p>廣島縣吳市 吳地方復員局留置 特別輸送艦 早 埼 (特別輸送艦 早 埼)</p> <p>佐世保郵便局氣付 特別輸送艦 奄 美 (特別輸送艦 奄 美)</p>	<p>○郵便物廻送ノ件 本艦宛郵便物ハ左記へ廻送相成度 記</p>
<p>京都府東舞鶴市 東舞鶴郵便局氣付 特別輸送艦 樺 (特別輸送艦 樺)</p>	<p>○移轉 當所ハ三月五日左記ニ移轉セリ 記 戸畑市東本町戸畑國民學校内 (電話戸畑四五五番) 運航班 若松市東海岸通一丁目 (電話若松一四九二番) (電信課 現在ノ儘) (門司上陸地連絡所)</p>	<p>○轉官 第二復員技師關谷不二彦ハ二月二十八日地方技師ニ轉官セリ</p>		

1724

第二復員省公報 第五七號

昭和二十一年三月二十三日(土)  
第二復員大臣官房

○通 牒

庶務課長  
二復員省公報  
昭和二十一年三月二十日

第二復員省總務局長  
第二復員大臣官房需品部長

給送課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課 需品消費課

二復員省總務局長  
二復員大臣官房需品部長  
二復員省公報  
昭和二十一年三月二十三日

第二復員省公報 第五七號 昭和二十一年三月二十三日

ハ極力受込マザルコト  
保管取扱ニ留意シ亡失毀損ヲ防止スルコト

二復員省總務局長  
二復員大臣官房需品部長  
昭和二十一年三月二十日

第二復員省經理局長

支 出  
各資金前渡官吏  
各契約擔任官

政府特殊借入金ニ依ル決濟ニ關スル件通牒

今般大藏省告示第四十六號及同第四十七號ヲ以テ政府特殊借入金ト爲シ得ベキ買収代金、工事費等ノ限度金額ヲ引下グラレ候處之ニ關聯シ自今部内ニ於ケル首題ノ決濟ニ關シテハ昭和十八年經物第一四二號通牒ニ拘ラズ左記ニ依リ處理ノコトニ取計相成度

記

- 一 終戦前ノ契約ニ係ル軍需品代金等ニシテ支拂停止中ノ金額一萬圓ヲ超ユルモノニ付テハ特ニ定ムルモノノ外政府特殊借入金トシテ決濟手續ヲ取進ムルコト
- 二 臨時軍費支辨ニ屬スル本年二月末日以前ノ金額一萬圓ヲ超ユル債務ニシテ前號ニ該當セザルモノノ辨濟ニ付テモ必要

九七

1725

已ムヲ得ザルモノノ外政府特殊借入金トシテ決済スルコト但シ本決済關係ノ書類ニハ其ノ表面餘白ニ「非軍需」ト表示ノ上調製者捺印スルモノトス

(参照)

大藏省告示第四十六號

昭和十八年七月大藏省告示第二百九十八號(企業整備資金措置法第十一條ノ規定ニ依リ政府特殊借入金、特殊預金、特殊金銭信託、債務者特殊借入金及戰時金融庫特殊借入金ノ條件ヲ定ムルノ件)中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月二十八日

大藏大臣 子爵 澁澤敬三

第一號政府特殊借入金ノ一回ノ借入金額「一口一萬圓以上」ヲ「一口五千圓以上」ニ改ム

(参照)

大藏省告示第四十七號

臨時資金調整法施行令第九條ノ六ノ規定ニ依リ左ノ通指定ス

昭和二十一年二月二十八日

大藏大臣 子爵 澁澤敬三

價格一萬圓ヲ超ユル物件ノ買収代金又ハ一回ノ支拂金額一萬圓ヲ超ユル加工費、工事費若ハ保管料

昭和二十年十月三日大藏省告示第三百六十五號ハ之ヲ廢止ス

第二復員省公報 第五八號

昭和二十一年三月二十六日(火)

第二復員大臣官房

〇令 達

官房經第四〇號

官房經第一三號ニ依ル二月分臨時賞與支給額中外地及外國ニ在ル軍人軍屬(二月一日現在輸送中ノ者及上陸地連絡所收容中ノ者ヲ含ム)ニ對スル分ハ第二復員部内臨時家族手當支給規則第三條ニ依ル扶養家族ヲ内地ニ殘置スル者ニ付一率二百圓支給、殘置セザル者ニハ支給セザルコトニ改ム

昭和二十一年三月二十日

第二復員 大臣

官房經第四一號

一 本年三月一日現在在職中ノ文官同待遇者、嘱託者、雇員傭人、工(鑛)員ニ對シ俸給給料又ハ報酬(本俸タル性質ヲ有スル基本給ノミヲ謂ヒ日給者ニアリテハソノ三十日分ヲ月額ト看做ス)、勤續手當、臨時物價手當、臨時家族手當ノ合計月額ノ一月半分ノ年度末賞與ヲ支給ス但シ左ニ掲グル者ニハ支給セズ

- (イ) 俸給給料又ハ報酬ノ支給ヲ受ケザル者
- (ロ) 休職(之ニ準ズル者ヲ含ム)、停職又ハ待命(俸給金額ノ支給ヲ受ケ職務ニ従事スル者ヲ除ク)中ノ者

第二復員省公報 第五八號 昭和二十一年三月二十六日

- (ハ) 嘱託者中一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者
- 二 廳長ハ雇員ノ勤務情況ニ依リ適宜減額スルコトヲ得
- 三 外地及外國ニ在ル軍人軍屬(三月一日現在輸送中ノ者及上陸地連絡所收容中ノ者ヲ含ム)ニ付テハ別途定ム

昭和二十一年三月二十五日

第二復員 大臣

〇通 牒

官房總第四〇號

昭和二十一年三月二十二日

第二復員 次官

各 廳 長 殿

衆議院議員總選舉期日ニ於ケル便宜供與ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通閣議決定相成候條萬遺漏ナキヲ期セラシムル様可然配意相成度

(別紙)

内閣閣印第七三號

昭和二十一年三月十二日

内閣書記官長

九九

第二復員大臣殿

衆議院議員總選舉期日ニ於ケル便宜供與ニ關スル件

標記ノ件本日閣議ニ於テ別紙ノ通決定相成候條萬遺漏ナキヲ期セラルル様然ルベク御配意相煩度命ニ依リ通牒ニ及ビ候

衆議院議員總選舉期日ニ於ケル便宜供與ニ關スル件

四月十日行ハルベキ衆議院議員總選舉ノ重大性ニ鑑ミ總選舉當日ニ於ケル本人並ニ其ノ家族ノ投票ノ便宜供與ニ關シテ左ノ如ク措置スルモノトス

一 官廳ハ休暇日トスルコト但シ緊要ナル事務ニ支障ヲ來サシメザル方途ヲ講ズルモノトスルコト

二 銀行、會社等ハ實情ニ應ジ休日トスル様強力ニ勸奨スルコト此ノ場合ニ於テ俵給、給料、手當等ノ支給ニ付テハ平常ノ勤務アリタルモノトシテ取扱フコト

三 工場、事業場ニ在リテモニ準ジ措置スルコト

四 學校ハ休日トスルト共ニ兒童、生徒、學生ヲ通ジテ棄權防止ヲ徹底スルコト

二復經理局主第二號ノ一七

昭和二十一年三月二十五日

支出官、資金前渡官吏殿

第二復員省經理局長

預託金ヲ定額戻入ノ爲ノ拂出方ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ大藏省理財局長ヨリ第二復員省經理局長宛別紙理祕第一三二號ノ通通知有之候條了知相成度

(別紙)

理祕第一三二號

昭和二十一年三月十三日

大藏省理財局長

第二復員省經理局長殿

臨時軍事費特別會計ニ屬スル出納官吏ノ日本銀行預託金ヲ定額戻入ノ爲ノ拂出方ニ關シ別紙ノ通日本銀行へ通知致置候條御了知相成度此段及通知候也

(別紙)

昭和二十一年三月十三日

大藏省理財局長

日本銀行國庫局長殿

臨時軍事費特別會計ニ屬スル出納官吏ヨリ貴行ニ對スル預託金ヲ支出官ニ對シ定額戻入ノ爲戻入納票又ハ返納告知書ヲ添へ拂出ノ請求ヲ受ケタル場合定額戻入ノ手續ヲ爲シ預託金拂出整理方可然御取計相成度此段及通知候也



第二復員省公報 第五九號

○通 牒

二復員局主第二號ノ二〇

昭和二十一年三月二十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ大藏次官ヨリ第二復員次官宛別紙ノ通牒牒有之候條可然取計相成度

追テ右ニ關聯シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 第二復員省經理局長

宛 關係各廳長

第一六一三四〇番電

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關スル件

金融緊急措置ニ伴フ支拂事務等ノ取扱ニ關シ左ノ通定メラル  
一。經理局第二六一五二八番電第六號中「翻譯料」ヲ削除ス

現金支拂（封鎖支拂ニ非ザル支拂）ヲ爲スベキ場合ニ於テ

小切手等ヲ用フルトキハ小切手等ノ表面餘白ニ「自由支拂」

ト明記スルコト

第二復員省公報 第五九號 昭和二十一年三月二十七日

昭和二十一年三月二十七日(水)  
第二復員大臣官房

三。本年二月以前ニ支拂フベキモノニシテ手續遅延等ノ爲今後支拂フモノハ之ヲ封鎖支拂トスルコト

四。一件五百圓未満ノ機密費支拂ハ現金支拂ト爲スコトヲ得但シ機密費ノ個人名義預貯金ニ付テハ右ノ現金支拂ノ可能ナラシムル爲當該預貯金通帳ノ表面ニ官職氏名ノ外(註)ト記載シ當該官廳ノ官印ヲ捺捺スルコト(本標示アル通帳ノ預貯金拂戻ノ特別取扱ニ付テハ大藏省ヨリ別途金融機關宛通牒濟)

(昭和二十一年三月六日第二復員省公報第四九號參照)

(別紙第一)

官房秘乙第一八四號

昭和二十一年三月二日

大 藏 次 官

第二復員次官殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ニ關スル件

金融緊急措置ニ伴フ國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂等ノ取扱ニ關シテハ舊ニ通牒致シ既ニ實施中ノ處今般右取扱ヲ法制化シ別紙「國又ハ都道府縣其ノ他公共團體支拂等規則」ヲ三月三日公布即日施行スルコトト相成候條右御諒知相成度尙速反行爲ハ法令違反トナルコトニモ鑑ミ關係各方面ヘノ周知徹底

方特ニ御配慮相成度

追テ右規則第一條第一項第五號ノ大藏大臣ノ指定スル已ムコトヲ得ザル使途ニ充テラルル經費トシテ「一件五百圓未滿ノ機密費」ヲ指定セルニ付併而及通牒候

大藏省令第二十四號

金融緊急措置令及日本銀行券預入令ニ基キ國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則左ノ通定ム

昭和二十一年三月三日

大藏大臣 子爵 森澤 敬三

第一條 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則

ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ハ左ノ各號ノ經費ニ付爲スモノニ限ル

一 俸給、給料、手當、賞與其ノ他ノ定期的給與當該月ニ於テ五百圓(分類所得稅額、恩給法國庫納金額、健康保險保險料額、船員保險保險料額、厚生年金保險保險料額及共済組合掛金額ヲ含マズ)ヲ超ユル定期的給與ヲ受クル者ニ付テハ五百圓迄ニ限ル

二 旅費、被服料、通信費、車馬費、賄料及諸謝金

三 一件ノ金額五百圓未滿ノ消耗品費、備品費、圖書費、文具費其ノ他ノ事務用雜費

四 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ニ對シ支拂ハルル經費

五 大藏大臣ノ指定スル已ムコトヲ得ザル使途ニ充テラルル經費

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ出納官吏又ハ之ニ準ズル者ニ對スル資金交付ノ爲ノ支拂ハ現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂トス

第二條 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ金錢債務ノ支拂ハ前條ニ掲グル經費ヲ除クノ外封鎖支拂ノ方法ニ依リ之ヲ爲スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

金融緊急措置令施行規則中左ノ通改正ス

第五條第一項第三號、第三項及第十三條ノ二第一項第一號中「(分類所得稅額ヲ含マズ)」ヲ「(分類所得稅額、健康保險保險料額、船員保險保險料額及厚生年金保險保險料額ヲ含マズ)」ニ改ム

第七條中「又ハ封鎖支拂」ヲ「又ハ小切手若ハ郵便爲替證書ヲ以テスル封鎖支拂」ニ改ム

日本銀行券預入令施行規則中左ノ通改正ス

第七條第一號ヲ削リ第二號以下順次繰上グ

第十一條第三項中「金融機關」ヲ「國若ハ都道府縣其ノ他地方公共團體又ハ金融機關」ニ改ム

(別紙第二)

官房秘乙第一八六號

昭和二十一年三月六日

大 藏 次 官

第二復員次官殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ノ取扱ニ關スル件

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體支拂等規則ニ關シテハ三月二日附ヲ以テ通牒致置候處同規則ニ依ル支拂事務等ノ取扱ノ細目ニ付テハ左記ニ依リ取扱相成度

追テ本取扱ノ決定ニ伴ヒ二月二十一日附通牒「金融緊急措置ニ伴フ各省支拂事務等取扱方ニ關スル件」ハ之ヲ廢止セルニ付御諒知相成度

記

一 規則第一條ノ規定ニ依リ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ヲ爲ス場合ニハ小切手等ノ表面餘白ニ「自由支拂」ト明記スルコト

二 規則第一條第一項ノ規定ニ依リ現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ヲ認メラレタル經費ニハ昭和二十一年二月以前ノ分(例之二月以前ニ支拂フベカリシモノニシテ手續遅延セル爲今後支拂フモノ或ハ二月分以前ノ定期的給與、旅費等)ハ含マザルモノトスルコト從ツテ之等二月以前ノ分ハ規則第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂トスルコト

三 規則第一條第一項第一號ノ「其ノ他ノ定期的給與」ニハ一

時的給與ノ性質ヲ有セザル恩給、社會保險給付金、臨時備ノ入夫賃(一日二十四ヲ限度トスルコト)等ヲ含ムモノトスルコト

荷他ヨリ主タル給與ヲ受クル者(例之他省ノ官吏、民間人等)ニ對スル手当等ハ本號ニ依ラズ第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂トスルコト

四 規則第一條第二號ニ關シ前取扱方ニ掲記セル翻譯料及寫字料ハ民間支拂トノ均衡上削除セルニ付特ニ注意スルコト

五 規則第一條第五號ノ規定ニ依ル大藏大臣ノ指定スル經費トシテ蒸當リ左ノモノニ付指定セラレタルコト  
(一) 一件五百圓未満ノ機密費  
(二) 一件五百圓未満ノ引揚民ノ應急救助費並ニ扶助ニ關スル法令等ニ基ク生活扶助(養育扶助ヲ含ム)及生業扶助  
(三) 船舶ノ航海中ノ諸經費ニシテ船籍港以外ノ港ニ於テ支拂ヲ爲スモノ

(四) 離島關係ノ諸經費(例之燈臺關係經費等)  
機密費ノ個人名義預貯金ニ付テハ右(一)ニ依ル現金支拂ヲ可能ナラシムル爲當該預貯金通帳ノ表面ニ官職氏名ノ外(秘)ト記載シ當該官廳ノ官印ヲ捺捺スルコト(本標示アル通帳ノ預貯金拂戻ノ特別取扱ニ付テハ別途金融機關宛通牒濟)但シ東京ニ於ケル金融機關ニ對スル預貯金ニ付テハ右官印捺捺前ニ大藏省主計局司計課ニ申出ツルコト

押捺前ニ大藏省主計局司計課ニ申出ツルコト

第二復員省公報 第五九號 昭和二十一年三月二十七日

尙前記(一)乃至(四)ノ外大藏大臣ノ指定ヲ受ケントスル場合ハ現金ニ依ル支拂又ハ現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂ノ已ムヲ得ザル理由ヲ具シ大藏省理財局國庫課(但シ機密費ニ付テハ主計局計課)ニ申出ヅルコト

六 規則第二條ノ規定ニ依リ封鎖支拂ヲ爲ス場合ニハ小切手等ノ表面餘白ニ「封鎖支拂」ト明記スルコト

七 規則第一條第一項第一號以外ノ封鎖支拂ヲ爲スベキ給與ノ支拂ニ付テハ支拂者及金融機關等ノ事務ノ便宜上左ノ如ク取扱フコトトシ右以外ノ取扱ヲ爲サントスルトキハ大藏省理財局國庫課ニ連絡スルコト

(一) 受給者ノ預入ヲ希望スル金融機關別ニ預入金額及預金名義人ノ明細表ヲ附シ預入金總額ノ小切手ヲ作成シ當該金融機關ノ適宜ノ一店舗ニ送付スルコト

(二) 右小切手ヲ受領セル金融機關ノ店舗ハ小切手ノ金額ヲ明細表ニ從ヒ各人ノ當該金融機關各店舗ニ於ケル預金ニ振込ムコト

(三) 受給者ノ郵便官署ニ預入ヲ希望スルモノハ之ヲ一括シ預入金額及預金名義人ノ明細表ヲ附シ預入金總額ノ小切手ヲ預金名義人ノ貯金通帳ト共ニ適宜ノ郵便官署へ持參シ郵便官署ハ之ヲ明細表ニ從ヒ各員ノ郵便貯金ニ振込ムコト

八 規則ノ附則ノ規定ニ依リ日本銀行券預入令施行規則第七條改正セラレ國又ハ地方公共團體ノ所持スル舊券ハ凡テ預入スルコトヲ要シ新券ヲ必要トスル場合ニハ規則第一條ノ規定ニ

依リ現金ニ依ル支拂ヲ認メラレタル經費及當該經費ノ現金支拂上必要ナル資金ニ限リ新券交付セララルニ付注意スルコト從ツテ供託金、領置金、保管金等ニシテ特ニ舊券ヲ新券ニ引換スル必要スルモノニ付テハ一旦舊券ヲ預入セル上規則第一條第一項第五號ニ依リ大藏大臣ノ指定ヲ受ケ新券ノ交付ヲ受クルコト

○ 雜 款

○ 郵便物廻送ノ件

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ廻送相成度

記

廣島縣吳市 吳地方復員局艦船運航部氣付

特別輸送艦 輸第百十號

(特別輸送艦輸第百十號)

○ 移 轉

舞鶴上陸地連絡所ハ三月十一日舞鶴市舊平海兵團内ニ移轉セリ  
追テ厚生省舞鶴引揚援護局(檢疫所共)及舞鶴上陸地支局モ同一構内ニ在リ

(舞鶴地方復員局舞鶴上陸地連絡所)

庶務主任

第二復員省公報 第六〇號

部

長 〇 令 達

内令第四四號

昭和二十一年三月二十八日(木)

第二復員大臣官房

内令第四二號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

庶務課 昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

給英課長

英地方復員局掃海部吳支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百

衣糧課長 佐世保地方復員局掃海部佐世保支部ノ項掃海艦名ノ欄「掃特第

宿務課長 昭和二十一年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第四三號

吳地方復員局所管

掃海艦 哨特第百二號

佐世保地方復員局所管

掃特第十五號

同 掃特第十五號

右掃海艦ヲ解ク

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

第二復員省公報 第六〇號 昭和二十一年三月二十八日

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 掃特第十九號

同 掃特第二十號

右舞鶴地方復員局所管ト改ム

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

内令第四五號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第百十六號

右特別輸送艦ヲ解ク

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣

官房經第四二號

第二復員部内所得稅徵收手續特例ハ昭和二十一年二月二十八日  
限り之ヲ廢止ス但シ昭和二十一年三月八日以前ニ退職シタル者  
ノ分類所得稅ノ徵收ニ付テハ仍從前ノ例ニ依リ徵收スルコトヲ  
得

一〇五

1733

昭和二十一年三月二十七日

第二復員大臣

○ 雜 款

○ 郵便物廻送先

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ヘ廻送相成度

記

神戸市兵庫區和田崎町三丁目

三菱重工業株式會社庶務課氣付

特別輸送艦 輸第二十號

追テ本艦ハ四月十日迄本造船所ニテ修理ノ豫定ニ有之

(特別輸送艦輸第二十號)

○ 事務開始

當連絡所ヲ三月一日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

函館市舟場町(船舶運營會函館出張所内)

電話函館 (一三三三)(晝間)  
(五四六八)(夜間)

(函館上陸地連絡所)

○ 事務閉鎖

奥地方復員局需品部岡山出張所ハ三月十五日附閉鎖セリ

(奥地方復員局需品部)

第二復員省公報 第六一號

昭和二十一年三月二十九日(金)  
第二復員大臣官房

○通牒

二復經理局契九第一號ノ六六  
昭和二十一年三月七日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

日用品等受込通帳ニ關スル件通牒

諸物品不足ノ現狀ニ鑑ミ日用品等補給ノ適正ヲ期スル爲之方受込補給ヲ爲サントストキハ爾今左記ニ依ルコトト致候條可然取計相成度

記

一 各地方復員局經理部ハ管下特別輸送艦艇、掃海艇、引揚援護局、病院等ニ對シ日用品等受込通帳(様式別紙)(以下通帳ト稱ス)ヲ交付シ發行番號所轄名ヲ關係經理部ニ通報スルモノトス

二 日用品等ノ補給ヲ受ケントスル各部ハ其ノ受込要求ト共ニ通帳ヲ經理部ニ呈示スルモノトス

三 經理部ハ前回迄ノ補給受込狀況ヲ照應ノ上補給數量ヲ決定シ通帳ニ記入捺印ノ上受込要求ト共ニ淺野物產出張(派出)所ニ回付補給セシム

四 淺野物產出張(派出)所以外ノ各部ニ於テ補給ヲ爲ス場合

亦右ニ準ズ

(別紙添)

二復經理局主第五號ノ四

昭和二十一年三月二十二日

第二復員省經理局長

各地方復員局經理部長殿

臨時軍事費特別會計終結ニ關スル勅令等ノ件  
送付

今般制定セラレタル首題ノ件左記ノ通及送付候

追テ管下殘務整理事務所等所要ノ向ヘハ貴部ヨリ送達相成度

記

一 昭和二十一年勅令第百十號臨時軍事費特別會計終結ニ關スル件

一 昭和二十一年大藏省令第三十七號昭和二十一年勅令第百十號(臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關スル件)施行ニ關スル件

昭和二十一年勅令第百十號(昭和二十一年二月二十八日公布)

臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關スル件

第一條 臨時軍事費特別會計ノ年度ハ臨時軍事費特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラズ昭和二十一年二月二十八日ヲ以テ終結ス

第二復員省公報 第六一號 昭和二十一年三月二十九日

一〇七

第二條 臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ

昭和二十一年六月三十日迄ニ悉皆之ヲ完結スベシ

第三條 臨時軍事費特別會計ノ收入歳入額ハ昭和二十一年五

月三十一日迄ニ歳入事務管理廳ニ判明シタル收入歳入額ト

シ同特別會計ノ支出歳出額ハ同日迄ニ所管大臣ニ判明シタ

ル支出歳出額ヨリ資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ニ於ケル支拂

ノ同日迄ニ判明セザル金額ヲ控除シタル金額トス

臨時軍事費特別會計所屬ノ歳入金又ハ歳出金ニシテ前項ニ規

定スル日後ニ於テ其ノ收納又ハ支出若ハ支拂ノ判明シタル金

額ハ之ヲ其ノ判明シタル年度ノ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組

入レ整理スベシ

第四條 臨時軍事費特別會計ニ於ケル歳計ノ剩餘又ハ不足ハ之

ヲ一般會計ノ所屬ニ移シ整理スベシ

第五條 臨時軍事費特別會計ノ年度終結ノ際之ニ屬スル權利義

務ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

第六條 政府ハ臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出決算ヲ調製シ昭

和二十一年度開會ノ帝國議會ノ常會ニ於テ之ヲ帝國議會ニ提

出スベシ

政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ歳入歳出ノ決算額ト第三

條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理

シタル金額トノ合算額ノ計算書ヲ調製シ之ヲ歳入歳出ノ總決

算ト共ニ帝國議會ニ提出スベシ

第七條 本令施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省令第三十七號

昭和二十一年勅令第一百號(臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關ス

ル件)施行ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年三月十八日

大藏大臣 子爵 澁澤 敏三

第一條 臨時軍事費特別會計ノ歳入金ヲ日本銀行ニ於テ受入ル

ルハ昭和二十一年四月三十日限トス但シ左ニ掲グル專合ニ於

テハ同年五月三十一日迄之ヲ受入ヲ爲スコトヲ得

一 出納官吏ヨリ其ノ領收シタル歳入金ノ拂込アリタルトキ

二 國庫内ニ於テ移換ニ依リ歳入金ノ受入ヲ爲ストキ

臨時軍事費特別會計ノ歳出金ヲ日本銀行ニ於テ支拂フハ昭和

二十一年五月三十一日限トス

第二條 臨時軍事費特別會計ノ歳入金ヲ出納官吏又ハ出納員ニ

於テ收納スルハ昭和二十一年四月三十日限トス

第三條 臨時軍事費特別會計ニ於テ定額戻入ヲ爲スハ昭和二十

一年四月三十日限トス

第四條 臨時軍事費特別會計ノ經費ヲ精算シテ小切手ヲ振出シ

又ハ現金支拂ヲ爲スハ昭和二十一年四月三十日限トス但シ國

庫内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出ニ付テハ同年五月三十一日

迄小切手ヲ振出スコトヲ得



<p>第五條 臨時軍事費特別會計ノ小切手振出済金額中昭和二十一年五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セザル金額ニ相當スル資金ハ昭和二十一年勅令第百十號第四條ノ歲計剩餘又ハ歲計不足ニ組入レズ之ヲ繰越整理スベシ</p> <p>第六條 昭和二十一年勅令第百十號第三條第一項ノ規定ニ依リ控除シタル金額ハ之ヲ支出官ニ於テ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ各支出シタル經費ノ定額ヲ復活シ整理スベシ</p> <p>第七條 臨時軍事費特別會計ニ於テ負擔シタル債務ヲ政府特殊借入金ノ方法ニ依リ決濟ヲ爲スハ昭和二十一年五月三十一日限トス</p> <p>第八條 臨時軍事費特別會計ノ最終ノ徵收總報告書及支出總報告書ヲ大藏大臣ニ送付スルハ昭和二十一年六月十日限トス</p> <p>第九條 歳入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ臨時軍事費特別會計ノ收入濟歳入額ニ付豫算ニ對スル増減計算書ヲ調製シ昭和二十一年六月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ</p> <p>所管大臣ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ所管ニ屬スル臨時軍事費特別會計ノ經費ノ決算報告書ヲ調製シ昭和二十一年六月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ</p> <p>第十條 大藏大臣ハ會計検査官立會ノ上昭和二十一年六月三十日臨時軍事費特別會計ノ主計簿ヲ締切ルベシ</p> <p>第十一條 昭和二十一年勅令第百十號第六條第二項ノ規定ニ依リ計算書ハ同令第三條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル年度ニ於テ臨時軍事費特別會計ノ</p>	<p>歳入歳出ノ決算額ニ當該年度迄ニ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル金額ヲ合算シ調製スルモノトス</p> <p>前項ノ計算書ノ帝國議會ヘノ提出ハ昭和二十一年勅令第百十號第三條第二項ノ規定ニ依リ一般會計ノ歳入又ハ歳出ニ組入レ整理シタル年度ノ翌年度開會ノ帝國議會ノ常會ニ於テ之ヲ爲スモノトス</p> <p>附則</p> <p>本令ハ昭和二十一年三月一日ヨリ之ヲ適用ス</p> <p>○雜 款</p> <p>○郵便物發送先</p> <p>自今本館宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度</p> <p>記</p> <p>佐世保郵便局氣付</p> <p>特別輸送艦 海第百二號 (特別輸送艦海第百二號)</p> <p>舞鶴市 東舞鶴郵便局氣付</p> <p>特別輸送艦 樫 (特別輸送艦樫)</p> <p>鹿兒島上陸地連絡所氣付</p> <p>特別輸送艦 箕 面 (特別輸送艦箕面)</p>
---	--

第二復員省公報 第六一號 昭和二十一年三月二十九日

廣島縣 吳郵便局留置  
特別輸送艦 長 鯨  
(特別輸送艦長鯨)

廣島縣 吳郵便局留置  
特別輸送艦 雪 風  
(特別輸送艦雪風)

○郵便物廻送ノ件  
本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ廻送相成度

記

鹿兒島郵便局氣付  
特別輸送艦 董  
(特別輸送艦董)

佐世保局氣付  
特別輸送艦 海五十七號  
(特別輸送艦海五十七號)

○事務開始

本艦裝員事務所ヲ三月一日大阪府泉南郡深日町綠ヶ丘川崎造船所成徳寮内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(特別輸送艦海第四百十二號裝員事務所)

○正誤

三月十二日附復員省公報雜款欄事務開始ノ項「佐世保地方復員局管業部」ハ「第三十四設營隊」ノ誤

「煙 草」

年 月 日	現 在 員	主計長印	補 給 品 名	補 給 量	補 給 ( 擔 任 ) 廳	係官印	記 事
[21. 4. 1]	[250名]		[ほまれ]	[5箱]	[横須賀経理部]		[輸送定員1,000名]

1739

- 備考 1. 煙草、酒類、菓子、食糧品、繊維製品、日用品其ノ他ノ種別=依リ別表トスルモノトス  
 2. 「」内ハ記入例ヲ示ス  
 3. 他艦船等=供給セルトキハ補給品名、補給量、被補給廳(補給廳欄)ヲ朱書スルモノトス  
 4. 特別輸送艦艇=アリテハ記事欄=輸送定員ヲ記入スルモノトス

(別紙)(用紙模造罫紙)

(昭和二十一年三月二十九日第二復員省公報)

何々第	號
日用品等受入通帳	
(所轄名)	
昭和	年 月 日發行
經理部名國	

(別圖)

判任官以上  
(判任官待遇以上)  
(ノモノヲ含ム)

銅臺 櫻花 蕊 徑  
銀メツキ梨地 赤 銀 一三・五耗線色



雇員備人

銅臺 櫻花 蕊 徑  
銀メツキ梨地 綠 銀 一三・五耗線色



(昭和二十一年三月十九日第二復員省公報)

1741

第二復員省公報 第六二號

昭和二十一年三月三十日(土)

第二復員大臣官房

○通 牒

部

二復員省公報

昭和二十二年三月二十六日

第二復員省總務局長

庶務課長

各地方復員局需品部長殿  
水路圖誌供給ニ關スル件通知

給養課長

總戰事務ニ必要ナル水路圖誌ノ處理ニ關シテハ左記ノ通實施ノ  
水路部下協議濟ニ付了知相成度

夜糧課長

各地方復員局需品部ヨリ直接水路部ニ請求ス

營繕課長

水路部ハ現時各地方復員局需品部ニ直送ス

宿營課長

水路部ハ毎月第二復員省經理局長ニ水路圖誌代價ヲ一括請

警備課長

二復員人事局扶第二五號ノ八九  
昭和二十一年三月十八日

關係各廳長殿

第二復員省人事局長

日本領域外出身者及同地域ニ遺族ヲ有スル軍  
人軍屬ノ戰歿發表等ニ關スル件通知

第二復員省公報 第六二號 昭和二十一年三月三十日

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 人事局長

宛 各復員局長官

第〇七一七一二番電

日本領域外出身者及同地域ニ遺族ヲ有スル軍  
人軍屬ノ戰歿發表等ニ關スル件

日本領域(二月二日「マ」司令部指令ニ依ル)外出身者タル軍  
人軍屬及同地域ニ遺族ヲ有スル軍人軍屬ノ戰歿發表並ニ爾後ノ  
手續ニ關シ左ノ通定メラル

朝鮮並ニ臺灣出身特別志願兵、徵兵及同地域内ニ派遣元廳  
ヲ有スル軍屬中戰歿者ノ官職(職種待遇)氏名、入籍番號等  
ハ派遣元廳別ニ取繼メ朝鮮ハ吳地方復員局人事部ニ、臺灣ハ  
高雄海軍人事部ニ取敢ズ電報ヲ以テ速報シ然ル後所定手續ヲ  
實施スルモノトス

二 日本領域外ニ遺族ヲ有スル前號以外ノ戰歿者ニ對スル諸手  
續ハ優先的ニ之ヲ處理シ又其ノ英靈ハ各復員局人事部ニテ保  
管シ遺族トノ連絡ツキ次第其ノ希望ニ應ジ引渡スモノトス  
三 昭和二十年十二月人事局第〇四一八三〇番電中前諸項關聯  
ノ名簿ハ特ニ別途調製スルモノトス  
四 第一號ニ該當スル者ノ給與(家族渡ヲ含ム)ハ夫々吳地方

復員局經理部又ハ高雄海軍經理部ニ於テ處理スルモノトス

○雜 款

○郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

神奈川縣 浦賀郵便局氣付

特別輸送艦長 鯨

(特別輸送艦長鯨)

吳市 吳郵便局氣付

特別輸送艦 箕

(特別輸送艦箕面)

○事務開始

當連絡所ヲ三月二十日左記ニ設置シ事務ヲ開始セリ

記

大分市南新町外堀通(熊本地方復員人事部大分支部内)

(電話大分 五七番)

(別府上陸地連絡所)